

日本の危機言語・方言 サミット 八丈島

日時 2014年12月12、13、14日

会場 多目的ホール おじゃれ

● 前夜祭 12月12日(金) 19時30分～

◎ 招へい地域の紹介

● 1日目 12月13日(土) 13時～

◎ 記念講演 伊奈かつぺい氏 「方言で遊ぶ・方言を遊ぶ」

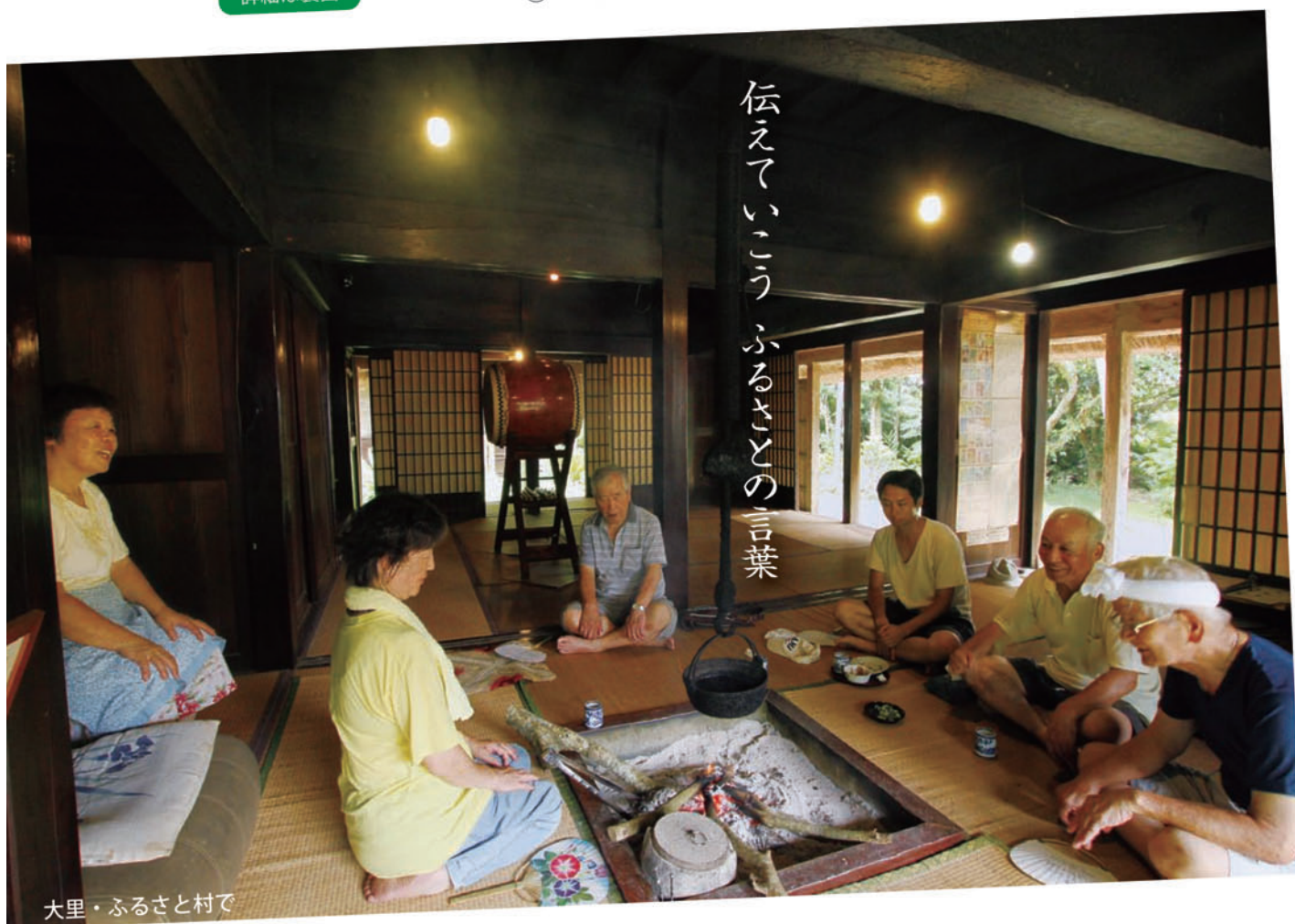
◎ 「各地域の現状と今後の活動」 I

● 2日目 12月14日(日) 9時～

◎ 「各地域の現状と今後の活動」 II

◎ パネルディスカッション「継承するための取組」

プログラム
詳細は裏面



主催 東京都八丈島八丈町

共催 文化庁、国立国語研究所

後援 アイヌ文化振興・研究推進機構、東京都教育委員会
鹿児島県、沖縄県、奄美市、琉球大学、日本方言研究会



本サミットは文化庁委託事業「危機的な状況にある言語・方言の保存・継承に係る取組等の実態に関する調査研究」の一環としての成果報告会を含むものです。

問い合わせ先 八丈町教育委員会 tel 04996-2-7071 e-mail kyoiku@town.hachijo.tokyo.jp

日本の危機言語・方言サミット IN 八丈島 プログラム

12月12日(金) 前夜祭

19時30分 ◎ 招へい地域の紹介

12月13日(土)

13時 ◎ 記念講演「方言で遊ぶ・方言を遊ぶ」— 少し訛って ずうーっと訛って—
伊奈 かつべい氏（「津軽弁の日やるべし会」代表）

15時 ◎ 「各地域の現状と今後の活動」Ⅰ
消滅危機にある言葉を聴く 日本民話「桃太郎」をふるさとの言葉で語る
言葉に関わる文化紹介など
発表 ▶ 与那国 八重山 宮古 沖縄

12月14日(日)

9時 ◎ 「各地域の現状と今後の活動」Ⅱ
消滅危機にある言葉を聴く 日本民話「桃太郎」をふるさとの言葉で語る
言葉に関わる文化紹介など
発表 ▶ 国頭 奄美 アイヌ 八丈

11時 ◎ パネルディスカッション「継承するための取組」

12時30分 ◎ 閉会



お国言葉で「いらっしゃい！」



島外参加希望者斡旋旅行会社 東武トラベル株式会社
TEL 048-642-3686
E-mail uno@tobuttravel.co.jp

趣旨と目的

2009年に国連教育科学文化機関(ユネスコ)が発表した世界の消滅危機言語のうち、日本では8言語・方言が将来消滅の危機にあると報告されました。アイヌ、八丈、奄美、国頭、沖縄、宮古、八重山、与那国の8言語・方言がそれです。

言葉は文化の代弁者です。地域の言葉がなくなるということは、その地域に昔から脈々と伝えられてきた文化が途絶え、その地域の固有の文化がなくなることです。それは自ら帰属する地域社会がアイデンティティーを喪失することにほかなりません。

このような状況から、少しでも消滅の危機を回避し、または伝承・復活の道をたどるために何ができるかを考えた時、ユネスコの消滅危機言語に指定された国内の各地域言語・方言を広く知ってもらうとともに、次世代への継承を視野に入れた活動を続けていくことが有意義であると考えました。それが、自分たちが生まれ育った地域を見直すことにつながり、アイデンティティーの再生につながると考えるからです。

8言語・方言の地域の話者を八丈島に招き、実際に各地域の消滅危機言語・方言を聞いて体感し、伝承の方策や、各地域が協力して取り組める活動を模索することは意義のあることと考えられます。

八丈町では文化庁や国立国語研究所の御支援を仰ぎながら日本消滅危機言語サミットを開催します。

*サミットとは…

一般的に各方面の代表者による会議をいう。この場合は消滅危機言語・方言を共通の課題とする。

アイヌ
アルキヤナニ

八丈
オジャリヤレ